

平成30年3月市議会定例会

市民病院

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

[予算案件]

- 1 平成30年度病院事業会計予算(案)総括表……………1頁
- 2 平成30年度予算(案)の主な事項……………2頁
- 3 医局等の整備事業について……………3頁
- 4 手術部門等整備事業について……………4・5頁
- 5 高額医療器械の導入について……………6頁
- 6 医療情報システム等整備事業について……………7頁

1 平成30年度病院事業会計予算（案）総括表

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

科目	H30当初予算(案)	H29当初予算	増減	対前年度比(%)	備考
病院事業収益	12,694,903	12,710,155	▲15,252	99.9	
1 医業収益	11,799,027	11,801,752	▲2,725	100.0	
(1)入院収益	8,463,583	8,490,082	▲26,499	99.7	平均入院患者数 409人/日
(2)外来収益	2,824,237	2,805,194	19,043	100.7	平均外来患者数 1,032人/日
(3)その他	511,207	506,476	4,731	100.9	
2 医業外収益	880,693	908,393	▲27,700	97.0	
(1)他会計補助金	332,096	321,757	10,339	103.2	一般会計補助金
(2)補助金	16,760	14,834	1,926	113.0	県補助金
(3)他会計負担金	452,673	486,044	▲33,371	93.1	一般会計負担金
(4)長期前受金戻入	15,098	16,886	▲1,788	89.4	
(5)その他	64,066	68,872	▲4,806	93.0	施設使用料等
3 特別利益	15,183	10	15,173	151,830.0	
うち固定資産売却益	15,173	0	15,173	皆増	旭町駐車場売却利益
病院事業費	12,684,452	12,697,557	▲13,105	99.9	
1 医業費用	12,447,760	12,518,066	▲70,306	99.4	職員数763人(うち再任用17人)
(1)給与費	6,981,437	7,016,640	▲35,203	99.5	
(2)材料費	2,690,837	2,660,320	30,517	101.1	
(3)経費	2,010,414	2,015,068	▲4,654	99.8	
(4)減価償却費	676,032	736,522	▲60,490	91.8	建物・器械備品等の償却
(5)その他	89,040	89,516	▲476	99.5	
2 医業外費用	236,392	179,191	57,201	131.9	
(1)支払利息・企業債利息	31,284	36,561	▲5,277	85.6	
(2)その他	205,108	142,630	62,478	143.8	
3 予備費	300	300	-	100.0	
差引	10,451	12,598	▲2,147		

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

科目	30年度予算(案)	29年度予算	増減	対前年度比	備考
資本的収入	1,683,299	558,282	1,125,017	301.5	
1 企業債	1,549,800	468,400	1,081,400	330.9	施設工事債、資産購入債、借換債
2 出資金	133,489	89,872	43,617	148.5	一般会計出資金
3 寄附金	10	10	-	100.0	
資本的支出	2,229,343	1,217,262	1,012,081	183.1	
1 建設改良費	1,289,264	435,297	853,967	296.2	
(1)施設工事費	122,436	167,458	▲45,022	73.1	空調設備更新工事等
(2)資産購入費	1,166,828	267,839	898,989	435.6	電子カルテシステム更新等
2 企業債償還金	940,079	681,965	258,114	137.8	定期償還、借換債に伴う償還
3 他会計長期借入金償還金	0	100,000	▲100,000	皆減	
差引	▲546,044	▲658,980	112,936		不足額は内部留保資金で補填

2 平成30年度予算（案）の主な事項

(1) 収益的収入及び支出

項目	内容
収益的収入 1 適切な利益を 求める効率的な 病院運営 [患者数・診療単価]	(1) 富山市民病院経営改善計画の着実な実行 (2) 地域の医療機関との連携強化等による紹介患者の確保 (3) 平均在院日数の短縮等による効率的な病床管理の推進 (4) 診療報酬体系に対応した指導管理料や実施加算の確保 一日平均入院患者数 409人 (前年度417人) 入院患者1人1日当たり診療単価 56,694円 (前年度55,780円) 一日平均外来患者数 1,032人 (前年度1,063人) 外来患者1人1日当たり診療単価 11,215円 (前年度10,815円) *外来日数 244日 (前年度 244日)
収益的支出 2 病院環境の整備 3 医療の質の向上 4 経営改善	(1) 病棟設備等の整備 病棟・外来設備の整備を行い、患者の療養環境やアメニティの向上に努める。
	(1) チーム医療の推進による安全で質の高い医療の提供 (2) 医療スタッフの研修の充実 認定看護師資格の取得等、医療スタッフの研修を充実し、医療の質の向上を図る。
	(1) 経費の削減 後発医薬品の採用拡大や診療材料の包括購入を推進するほか、委託業務の業務内容の見直しを行う等により、経費の削減に努める。 (2) 改善計画の進捗管理 第4期経営改善計画の進捗状況等を常に確認・管理し、目標の達成と諸課題の解決に努める。

(2) 資本的収入及び支出

資本的支出 1 施設工事費 2 資産購入費	(1) 空調設備更新工事 (2) 医局等整備事業 (3) 冷却塔補給水槽更新工事 (4) 手術部門等整備事業実施設計業務委託 合計 122,436千円
	(1) 医療器械の購入 高度医療の充実を図るため、CTスキャン装置等を購入する。 合計 246,980千円 (2) 委託料及び備品の購入 電子カルテシステムの更新等を行う。 合計 919,848千円

3 医局等の整備事業について

[市民病院 経営管理課]

1 目的

市民病院では、医師の研修の場である医局が、医師の増員により手狭になっていることに加え、当直室などの老朽化が進んでおり、勤務環境の改善が求められている。

当院は、厚生労働省指定の臨床研修病院であるが、近年、当院で初期臨床研修を希望する学生が減少しており、古くなった医局が敬遠されていることも要因の一つと考えている。また、当直医用の浴室が地下1階にある（医局は3階）など、利便性も低い状態である。

今後、医師の人材確保の観点から、医師が働きやすい環境を整え、勤務環境を改善するため、医局の整備を行うもの。

2 整備方針

- ① 医局の大部屋化により、収容人数の増加を図る。
- ② 当直医師の勤務環境改善のため、当直室の移転と浴室の設置を行う。

3 事業費 50,256千円

4 工期

平成30年9月～平成31年3月

現 状



改修後のイメージ



4 手術部門等整備事業について

[市民病院 経営管理課]

1 目的

市民病院では、手術部門の老朽化が著しく、また手術器械・器具の大型化や種類の増加により、手術室が手狭になっており、現在のままでは、最新の医療技術を用いた手術の実施が困難になりつつある。さらに、手術件数の増加により手術室数が不足してきており、これらに対応するため新たに手術室を増築し手術部門の整備を行うもの。

2 現状

(1) 手術部門の面積 959㎡

(2) 手術部門の構成 手術室8室、回復室、器材室、手洗室、洗浄室、麻酔医室、看護師記録室、更衣室など

(3) 手術件数

	年間手術件数
平成26年度	3,802件
平成27年度	3,979件
平成28年度	4,082件

3 整備方針

- ① 既存の手術室は休止できないことから、現在地の東側に新たに手術室を増築する。
- ② 今後の手術件数の増加を見込み、手術室を2室増設する。
- ③ 手術室1室あたりの大きさは、最新の手術器械が配置できる広さとする。
- ④ BCR（バイオクリーンルーム）の増設により、人工関節手術件数増に対応する。

4 スケジュール

平成29年度	基本設計
平成30年度	実施設計
平成31年度	既存作業療法室撤去工事及び増改築工事
平成32年度中	新設手術室稼働

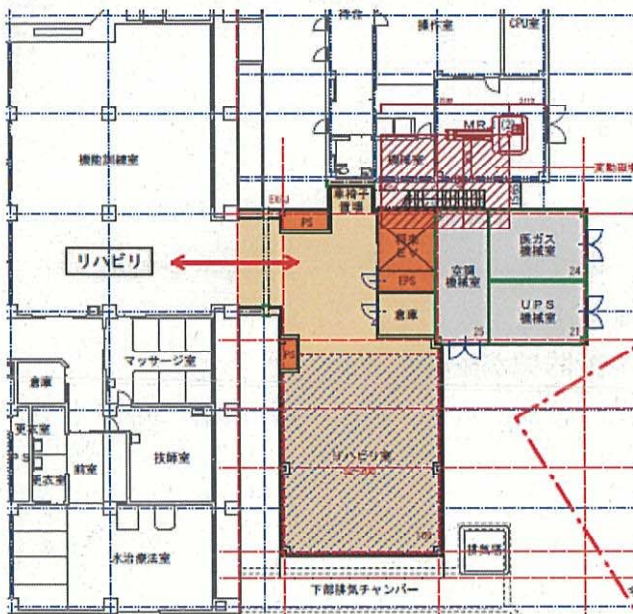
5 事業費 38,000千円（実施設計委託料）

6 概略工事工程表 (工事期間: 13ヶ月)

経過月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
準備工事 調査、仮設、設備迂回など	●	●											●	●	
STEP-1 作業療法室撤去工事			●	●											
STEP-2 集団療法室撤去改修工事			●	●	●										
STEP-3 増築工事				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
稼働手術室数			7室							8室					10室

7 手術室配置図 (案)

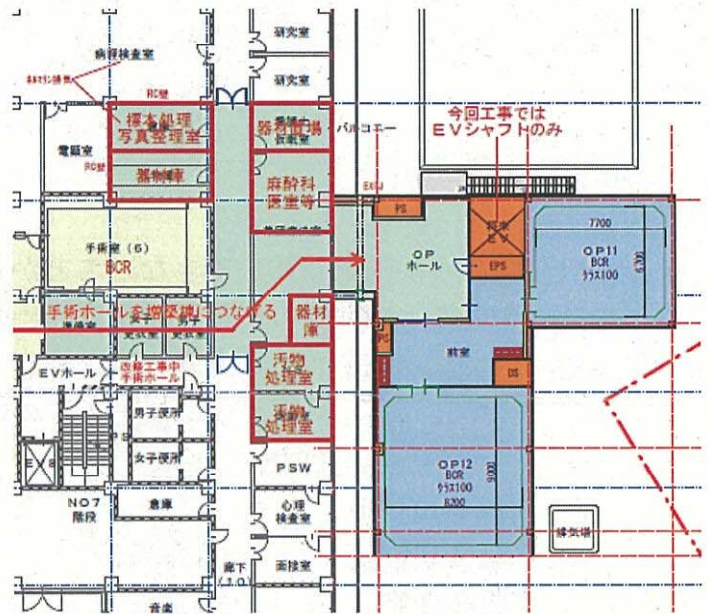
1階 (リハビリ室)



1階増築部分延床面積 290㎡

リハビリ室 112.5㎡

2階 (手術室2室)



2階増築部分延床面積 300㎡

手術室① 51.6㎡

手術室② 73.8㎡

5 高額医療器械の導入について

[市民病院 経営管理課]

1 目的

医療の高度化・複雑化に対応した病院機能の強化を図るため、高額医療器械の導入を行うもの。

2 導入する高額医療器械一覧（5,000千円以上のもの）

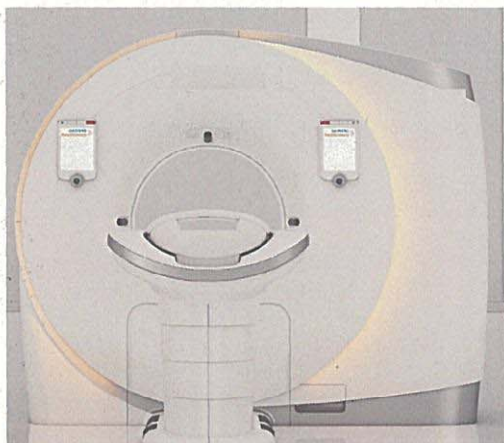
診療科	医療器械名	金額（千円）
放射線技術科	CTスキャン装置（※1）	156,838
透析内科	逆浸透精製水製造システム	15,660
整形外科	手関節鏡セット	6,260
病理診断科	自動包埋装置	5,379
眼科	自動視野計	7,107

3 事業費 230,000千円

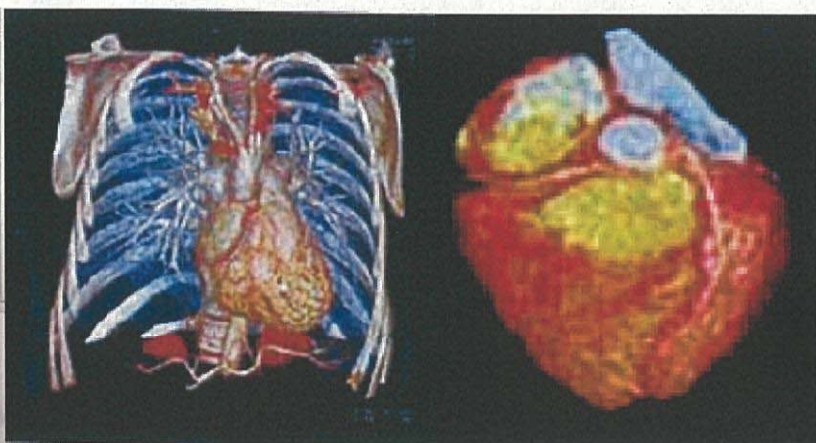
※1 CTスキャン装置 156,838千円

現在、CTスキャン装置は3台保有しており、1台あたり年間約1万件の使用実績がある。今回、このうち平成18年度に導入し、メンテナンス期間が終了するものを更新する。更新する装置は、より精密な画像を高速に撮影することができ、息止め時間が短縮できることから、高齢者や乳幼児、救急においても容易に検査をすることが可能となる。また、被爆量や造影剤使用量の低減が図られ、患者の負担が軽減される。

さらに、高齢化により増加している狭心症などの冠動脈疾患において、現有機器より簡便に冠動脈造影CTを行うことができるため、件数の増加が見込めるもの。



全身用X線CT診断装置



心電同期撮影画像

6 医療情報システム等整備事業について

[市民病院 経営管理課]

1. 目的

市民病院の電子カルテシステムは、導入後11年が経過し、更新の時期を迎えており、今後、国が推進している電子カルテデータの標準化や地域連携の推進に対応するとともに、システム経費の削減・環境負荷軽減、セキュリティの強化などを目的として、電子カルテシステムの更新を行うもの。

なお、電子カルテシステムの更新に合わせ、地域医療連携システム、医事会計システム、看護管理システム、インシデント管理システム、栄養部門（給食管理）システム等の更新を予定している。

2. 新電子カルテシステムの特徴

(1) 地域連携

電子カルテデータの規格を国の標準仕様に準拠したものとすることで、他の医療機関や介護施設等との間で、医療情報データの相互運用の利用機会が高まり、地域連携の充実・強化が図られる。

(2) 経営の安定

パッケージ型電子カルテシステムとすることで、保守管理の負担を軽減するとともに、診療報酬改定等の制度改正にも迅速な対応を可能とすることで、経費の削減が図られる。

(3) 情報セキュリティ

医療情報の管理機能を強化した電子カルテシステムの導入により、院内の情報セキュリティ体制の強化が図られる。

3. 稼働予定

平成31年2月 新システム稼働

4. 事業費 880,000千円

(内訳：委託費700,000千円、ハードウェア費180,000千円)

○委託費

- ・システムサーバ機器
- ・電子カルテ等パッケージソフト
- ・部門システム連携作業
- ・システム移行作業 等

○ハードウェア費

- ・クライアント（端末機、プリンター等）機器
- ・ネットワーク（LAN回線等）機器 等